

教科	国語	科目	現代の国語	単位	2 単位
----	----	----	-------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	2	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「新編現代の国語」（現国 7 0 1）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	自己を見つめる
提出期限 6 月 15 日	概要	・生きる原点としての自己への理解を深める。
第 2 回	単元名	他者に出会う・言葉と生活 1
提出期限 7 月 15 日	概要	・評論を読んで筆者の考えてを読み取り、関心の幅を広げる。 ・説明をしたり、読み比べたりすることを通して、コミュニケーションの基礎となる力を養う。
第 3 回	単元名	視野を広げる
提出期限 8 月 15 日	概要	・新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げる。
第 4 回	単元名	社会と関わる・言葉と生活 2
提出期限 10 月 15 日	概要	・働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。 ・話し合いをしたり、自分の考えを書いたりすることを通して、表現する力を養う。
第 5 回	単元名	世界とつながる
提出期限 11 月 15 日	概要	・芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。
第 6 回	単元名	未来に目を向ける
提出期限 12 月 15 日	概要	・多様な価値観に目を開き、社会の未来を考える。

面接指導計画

- ・自分の考えを文章で伝え、他者の意見と比較してみよう（評論『水の東西』山崎正和 P.33~37）

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・テーマに沿った意見を考え、他者の意見を聞き自分の意見と比較することができる。

【思考・判断・表現】

- ・自分と違った立場の意見を考えることができる。（「B書くこと」(1)イウ）
- ・自分と違った立場の意見を聞いて、新たな見方を獲得することができる。（「B書くこと」(1)エ）

【知識・技能】

- ・二項対立の意味を知ることができる。（「知識」(1)エ）

「言語文化」 1 学年 年間学習指導計画

教科	国語	科目	言語文化	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	2	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「新編言語文化」（現文 701）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	随筆・小説 1
提出期限 6 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。
第 2 回	単元名	詩歌・小説 2
提出期限 7 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。 ・描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。
第 3 回	単元名	小説 3
提出期限 8 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。
第 4 回	単元名	古文入門・随筆
提出期限 10 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。 ・説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。 ・古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。 ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。
第 5 回	単元名	詩歌・物語・紀行
提出期限 11 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えて、内容を解釈する。 ・特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。 ・作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。 ・文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深める。

第6回	単元名	漢文入門・漢詩・論語・史話
提出期限 12月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文の特色を知り、きまりを理解する。 ・ 格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。 ・ 漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。 ・ 漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。 ・ 孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。 ・ 『論語』の注釈を読んで自分の考えをまとめ、伝え合う。 ・ 話の展開に即して、内容を理解する力を身につける。 ・ 登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わう。

面接指導計画

<ul style="list-style-type: none"> ・ 『訓読の基本』 p210~p218 ・ 孟子『五十歩百歩』 p222~223 <p>・ 漢文の訓読の基礎を理解し、正確に書き下しができるようになる。【知識・技能】</p> <p>・ 日本語の歴史と照らし合わせながら、伝統的な言語文化を理解し、漢文に親しみをもって学ぶことができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読んで、人物の場面を想像力を働かせながら主体的に読み味わおうとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 『五十歩百歩』で孟子が伝えたいことについて考え、表現する。【思考・判断・表現】

「地理総合」 1 学年 年間学習指導計画

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位	2 単位
----	------	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	2	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p>
------	---

教科書	東京書籍「地理総合」（地総 7 0 1）
副教材	東京書籍「新高等地図」（地図 7 0 1）

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	地図と現代社会
提出期限 6 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが暮らす世界について学ぼう。 ・地図や GIS の役割について学ぼう。 ・世界の結び付きについて学ぼう。
第 2 回	単元名	生活文化と地理的環境(1)
提出期限 7 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の地域性と多様性について学ぼう。 ・地形と生活文化の関係について学ぼう。
第 3 回	単元名	生活文化と地理的環境(2)
提出期限 8 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・気候と生活文化の関係について学ぼう。 ・産業と生活文化の関係について学ぼう。
第 4 回	単元名	地球的課題と国際協力(1)
提出期限 10 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題について学ぼう。 ・資源やエネルギーの問題について学ぼう。
第 5 回	単元名	地球的課題と国際協力(2)
提出期限	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口や食料の問題について学ぼう。 ・都市や民族の問題について学ぼう。

11月15日		
第6回	単元名	持続可能な地域づくりと私たち
提出期限 12月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境の特色について学ぼう。 ・さまざまな自然災害と防災について学ぼう。 ・地域調査の方法について学ぼう。

面接指導計画

第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会

第2章 地図や地理情報システムの役割

- ・地図や地理情報システムの役割・有用性などについて理解し、それらを用いて課題やテーマに関する情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身につける。【知識及び技能】
- ・コンビニの出店計画を立てるなど、授業内での作業的で具体的な体験を伴う学習を通して、地図や地理情報システムから読み取ったことを分析し、自分なりに考え、意見を説明することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・地図や地理情報システムを授業で積極的に使い、日常生活や将来においてそれらを役立てようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

「歴史総合」 1 学年 年間学習指導計画

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位	2 単位
----	------	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	2	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------	---

教科書	東京書籍「新選歴史総合」（歴総 701）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	歴史の扉
提出期限 6 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、歴史と結びついていることを学ぼう。 文書や遺物など、歴史的な営みの記録である資料を読み取り、資料に基づいて歴史が叙述されていることを学ぼう。
第 2 回	単元名	近代化と私たち
提出期限 7 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> 18 世紀のアジア諸国が欧米の経済に与えた影響を学ぼう。 産業革命の影響を学ぼう。 中国の開港と日本の開国の背景、影響を学ぼう。 国民国家が形成された背景や影響を学ぼう。 帝国主義政策の背景とアジア・アフリカに与えた影響を学ぼう。
第 3 回	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち（1）
提出期限 8 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> 様々な現代的課題の発生と近代化の歴史的関係を学ぼう。 国際秩序の変化と大衆化による、生活や社会の変容を学ぼう。 第一次世界大戦の推移や、大戦後の国際協調体制を学ぼう。 第一次世界大戦前後の社会の変化について学ぼう。
第 4 回	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち（2）
提出期限 10 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化を学ぼう。 世界恐慌への各国の対応と、国際協調体制が動揺した原因を学ぼう。 第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響を学ぼう。

		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序と世界的影響を学ぼう。 ・第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活を学ぼう。 ・日本に対する占領政策と戦後国際情勢の関係を学ぼう。
第5回	単元名	グローバル化と私たち (1)
提出期限 11月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治・経済に及ぼした影響を学ぼう。 ・冷戦や地域紛争の中で進んだ第三世界の結集を学ぼう。 ・欧米やソ連の政策転換を学ぼう。 ・地域連携の背景と影響を学ぼう。 ・日本の高度経済成長の背景と影響を学ぼう。
第6回	単元名	グローバル化と私たち (2)
提出期限 12月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の経済発展の背景を学ぼう。 ・経済の自由化や技術革新の影響を学ぼう。 ・資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響を学ぼう。 ・冷戦の変容と終結の背景を学ぼう。 ・民主化や地域統合の背景と影響を学ぼう。 ・地域紛争が拡散した背景と影響を学ぼう。

面接指導計画

<p>第2章 近代化と私たち</p> <p>第3節 国民国家と明治維新 (『新選 歴史総合』東京書籍 p68～p69)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に立憲体制と国民国家の形成を理解することができる。【知識・技能】 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解することができる。【知識・技能】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる【思考・判断・表現】 ・近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

「公共」 1 学年 年間学習指導計画

教科	公民	科目	公共	単位	2 単位
----	----	----	----	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	2	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
------	--

教科書	教育図書「高等学校公共」（公共 702）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	公共とは
提出期限 6 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間と人間の関わりについて学ぼう。 ・個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性などを学ぼう。 ・人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを学ぼう。 ・人間は対話を通して互いの立場を理解し高め合う存在であることを学ぼう。
第 2 回	単元名	現代社会と法
提出期限 7 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・法の特徴をつかみ、法の分類、階層関係について学ぼう。 ・私たちがさまざまな契約を結んでいることを学ぼう。 ・消費者保護、消費者自立の考え方を学ぼう。 ・三権分立において司法権の果たしている役割を学ぼう。 ・裁判員制度の目的と意義を学ぼう。 ・国民審査や検察審査会など、市民が司法参加するさまざまな制度を学ぼう。 ・刑事裁判と民事裁判の目的や、手続きの違いを学ぼう。
第 3 回	単元名	現代社会と政治
提出期限 8 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・政党政治のしくみを学ぼう。 ・世論、ポピュリズムについて学ぼう。 ・立法の手続き、議院内閣制、行政の仕組み、三権分立を学ぼう。 ・直接民主制の仕組み、地方財政問題、地方分権の課題を学ぼう。 ・国家の要件、紛争解決手段、日本が抱える領土問題を学ぼう。 ・日本の安全保障の変化を学ぼう。

		<ul style="list-style-type: none"> ・戦後、日本が国際社会において果たしてきた役割や、国連の成立と仕組みを学ぼう。 ・SDGs が成立した経緯とその背景にある格差問題について学ぼう。
第4回	単元名	現代社会と経済(1)
提出期限 10月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味や、生活とのバランスを学ぼう。 ・人間とAIの共存や仕事の変化について学ぼう。 ・日本型経営や雇用システム、日本の労働環境の課題点を学ぼう。 ・労働法制の基本構造を学ぼう。 ・歳入・歳出、予算の編成など財政について学ぼう。 ・租税の種類や特徴、税制度の公平性を学ぼう。 ・公債の種類と特徴について学ぼう。 ・公営、民営のそれぞれの利点と課題を学ぼう。 ・少子高齢化と社会保障制度の維持について学ぼう。 ・市場は万能ではなく、法規制や公的機関による介入を必要とすることを学ぼう。
第5回	単元名	現代社会と経済(2)
提出期限 11月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・金融が果たす役割、金融市場の仕組みを学ぼう。 ・日本銀行の役割、金融政策の目的、景気や物価に影響を与えるメカニズムを学ぼう。 ・金融の自由化、国際化について学ぼう。 ・世界経済の相互依存関係が引き起こす影響を学ぼう。 ・地域経済統合がもたらすメリットとデメリットを自由貿易、保護貿易の観点から学ぼう。 ・南北問題、南南問題という地域的格差が生じていることを学ぼう。 ・国際機構が格差是正のために果たしている役割を学ぼう。 ・多文化主義の考え方を学ぼう。
第6回	単元名	持続可能な社会へ
提出期限 12月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共での学びを、主体として社会に参画する場までつなげていくにはどうすべきかを学ぼう。

面接指導計画

<p>第1章:公共の扉 第1節:公共と人2人はどのようにつながるのか(『公共』教育図書)</p> <p>【知識及び技能】 交換により人と人がつながっていること、そして交換と贈与の違い、社会的企業について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 贈与と市場交換がどのように自身の生活と関わりについて考察し、社会のあり方と自身の関わり方について、自らの意見を持つことができる。</p> <p>【学びに向かう力,人間性等】 贈与と市場交換について知り、現代社会のあり方と仕組みについての基礎を学び、自らとの関係や関わり方、これからの生き方について自ら考える態度を育成する。</p>
--

「数学 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	数学	科目	数学 I	単位	3 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	3	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	1.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	60 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「新数学 I」（数 I 704）
副教材	東京書籍「新数学 I 解答編」（数 I 705）

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 9 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	数の計算
提出期限 6 月 15 日	概要	正負の数の加減法／正負の数の乗除法／正負の数の利用
第 2 回	単元名	数と式
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>文字を使った式／多項式と単項式／多項式の加法・減法／多項式の乗法／乗法公式／因数分解／展開、因数分解のくふうと利用／平方根／根号をふくむ式の計算／数の分類／分数と小数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 ・単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、同類項、多項式の次数、n 次式など、式についての用語の意味を理解する。 ・多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ・指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 ・乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。 ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 ・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。 ・自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。 ・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。
第 3 回	単元名	方程式と不等式

提出期限 8月15日	概要	1次方程式／不等式／不等式の性質／不等式の解／不等式の解き方／2次方程式とその解き方／2次方程式の解の公式 <ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。 ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。
第4回	単元名	2次関数とそのグラフ
提出期限 8月15日	概要	関数／1次関数とそのグラフ／2次関数とそのグラフ／グラフの平行移動 <ul style="list-style-type: none"> ・変化する2つの変数の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。 ・1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。 ・2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフを x 軸方向や y 軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。 ・2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。
第5回	単元名	2次関数
提出期限 9月15日	概要	2次関数の最大値・最小値／2次関数のグラフと2次方程式／2次関数のグラフと2次不等式／いろいろな2次不等式 <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。 ・2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフと x 軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。
第6回	単元名	三角比(1)
提出期限 10月15日	概要	三角形／タンジェント／サインとコサイン／三角比の利用／三角比の相互関係 <ul style="list-style-type: none"> ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 ・サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。
第7回	単元名	三角比(2)
提出期限 11月15日	概要	三角形の面積／正弦定理／余弦定理／鈍角の三角比／三角比の相互関係／鈍角の三角比の利用 <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・余弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・座標を用いて定めることで 0° から 180° までの角に対するものに拡張された三角比を理解し、その値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ-\theta$ の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式が成り立つことを理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。また、三角比を空間図形の計量に活用することができる。
第8回	単元名	データの分析
提出期限 11月15日	概要	データにもとづいた問題解決の進め方／データの特徴の調べ方／代表値／四分位数と箱ひげ図／分散と標準偏差／相関関係／相関係数／データにもとづく考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。 ・データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解し、目的やデータに応じて、度数分布表、ヒストグラムなどに表すことができる。 ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの散らばり具合を表す四分位数、四分位範囲の定義や意味を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。 ・分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・相関関係について理解する。 ・相関関係の強弱を表す相関係数について理解し、相関の強さが表せることの有用性を認識できる。

		・仮説検定の考え方を理解する。
第9回	単元名	集合と論証
提出期限 12月15日	概要	<p>集合／命題と集合／命題と証明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。 ・命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学ぶ。

面接指導計画

<p>1章 数と式 3節 1次方程式 1次方程式</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実数まで拡張する意義や方程式、不等式、集合のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、命題を証明する活動を通じて、数学を活用して事象を論理的に考察する力、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したり、不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察したりする活動を通じて、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、問題を解決する際に、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決をする活動を通じて、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>【知識及び理解】 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念、二次の乗法公式及び因数分解の公式、不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、簡単な無理数の四則計算や一次不等式の解を求めることなどの数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>3章 三角比 1節 鋭角の三角形 4. 三角比の利用</p> <p>【知識・技能】 事象を数学的に解釈して、三角比を用いて表現・処理することに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p>

「数学 A」 1 学年 年間学習指導計画

教科	数学	科目	数学 A	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	2	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「新数学 A」（数 I 7 0 4）
副教材	東京書籍「新数学 A 解答編」（数 I 7 0 5）

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	場合の数
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>集合／集合の要素の個数／個数の考え方／和の法則と積の法則／順列／順列の利用／いろいろな順列／組合せ／組合せの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 補集合、和集合について、集合の要素の個数を求めることができる。 具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。 和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求めることができる。 樹形図を利用して順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 順列の考え方をいろいろな場面に利用して、条件のついた順列の総数を求めることができる。 重複順列、円順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 組合せの意味や性質を理解し、その総数を求めることができる。
第 2 回	単元名	確率(1)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>事象と確率／確率の計算／排反事象の確率／余事象の確率</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。 場合の数をもとに、確率を求めることができる。 確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求めることができる。 余事象の確率を求めることができる。
第 3 回	単元名	確率(2)
提出期限 8 月 15 日	概要	<p>独立な試行の確率／反復試行の確率／条件つき確率／期待値</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の意味を理解し、簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 反復試行について理解し、簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。

		<ul style="list-style-type: none"> 条件つき確率の意味を理解する。また、確率の乗法定理を理解し、活用できる。 期待値を求めることができる。
第4回	単元名	図形の性質(1)
提出期限 10月15日	概要	<p>直線と角／多角形の角／三角形の合同と相似／基本の作図／作図の利用／三角形と比／三角形の重心／三角形の外心と内心／角の二等分線と線分の比</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 多角形の内角、外角の性質を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。 垂直二等分線、垂線、角の二等分線の作図方法を理解し、その作図ができる。 図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図することができる。 三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。
第5回	単元名	図形の性質(2)
提出期限 11月15日	概要	<p>円の接線／円周角の定理／円に内接する四角形／接線と弦のつくる角／方べきの定理／2つの円／直線や平面の位置関係／多面体</p> <ul style="list-style-type: none"> 円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を理解し、4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めることができる。 2つの円の位置関係を考察できる。 2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。 多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に触れ、空間図形に対する見方を豊かにする。
第6回	単元名	数学と人間の活動
提出期限 12月15日	概要	<p>数を表す／数の表し方のしくみ／2進法／位置を表す／約数と倍数／最大公約数と最小公倍数／ユークリッドの互除法／はかる／数学で遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。 10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 2進法と10進法の変換を行うことや2進法と10進法を対比してみることで、記数法に対する理解を深めることができる。また、2進法で表された数の計算ができる。 平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また、その考えを空間内の座標へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。 約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。 長さや面積の単位を調べることができる。 体積や重さの単位を調べることができる。 古代の人々の時計や、暦（うるう年）について理解する。 魔方陣のしくみや解き方を筋道立てて考えることができる。 これまでに学んだことを用いて図形の不思議を解明する。 ハノイの塔の問題を解くことで、規則性を考えることのよさを知ることができる。 帽子の色あてパズルを解くことで、論理的に考えることのよさを知ることができる。 「塵劫記」の問題を通して、数学と文化の人間との関わりについての認識を深めることができる。

面接指導計画

1章 場合の数と確率

主体的に学習に取り組む態度

場合の数と確率における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

思考力・判断力・表現力

事象の構造、確率の性質や法則に着目し、場合の数や確率を求める方法を多面的に考察したり、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、意思決定に活用したりできるようにする。

知識・技能

場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則、用語・記号などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

「科学と人間生活」 1 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位	2 単位
----	----	----	---------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	8	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	3.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>
------	---

教科書	東京書籍「科学と人間生活」（科人 7 0 1）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	科学技術の発展
提出期限 6 月 15 日	概要	科学技術の歴史と発展／エネルギーや情報技術の発展／持続可能な未来のために ・科学技術の発展について、歴史上の事例や具体的な最新科学技術を通して知る。 ・科学技術の発展に伴う課題について知る。
第 2 回	単元名	生命の科学
提出期限 7 月 15 日	概要	さまざまな微生物／私たちの暮らしへの微生物の利用 ・微生物の基本的な分類、生態系や物質循環におけるはたらきについて理解する。 ・微生物の発見の歴史、発酵や医療への応用について知る。
第 3 回	単元名	物質の科学
提出期限 8 月 15 日	概要	リサイクルとは何か／金属の性質とその再利用／プラスチックの性質とその再利用 ・3R について知る。 ・金属の性質や製法、さびのしくみ、再生利用について知る。 ・プラスチックの種類や構造、機能性樹脂、再生利用などについて知る。
第 4 回	単元名	光や熱の科学
提出期限 10 月 15 日	概要	光の進み方とその基本的な性質／目に見える光と色の見え方／目に見えない光とその利用 ・反射、屈折、偏光、回折、干渉について知る。 ・スペクトルや色が見えるしくみについて知る。 ・電磁波の種類や応用について知る。
第 5 回	単元名	宇宙や地球の科学
提出期限 11 月 15 日	概要	太陽と月がもたらすリズム／太陽が動かす大気と水 ・太陽の動きや暦、潮位の変動と周期性について知る。 ・太陽活動や太陽の放射エネルギー、大気の循環や海流と気候との関係について理解する。

第6回	単元名	課題研究
提出期限 12月15日	概要	課題研究 ・研究の進め方、実験結果のまとめ方、報告方法について知る。

面接指導計画

<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展 ・生命の科学 ・材料とその再利用 <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【知識・技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の性質とその利用 ・太陽と地球 <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【知識・技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>
--

「物理基礎」 1 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	物理基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	8	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	3.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「物理基礎」（物基702）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	直線運動の世界
提出期限 6月15日	概要	運動の表し方／変位と速度／等速直線運動／合成速度と相対速度／速度が変わる運動／自由落下運動／鉛直投射／水平投射 ・物体の表し方について、直線運動を中心に運動する物体の変位や速度、加速度の表し方について知る。 ・自由落下する物体の運動や鉛直投射、水平投射された物体の運動の表し方について理解する。
第2回	単元名	力と運動の法則
提出期限 7月15日	概要	力とつり合い／力の合成と分解／垂直抗力と弾性力／慣性の法則／「運動の変化」と「力」／作用・反作用の法則／動摩擦力とその性質／静止摩擦力とその性質／空気の抵抗力／水圧と浮力 ・力の3要素と、物体に接してはたらく力や離れてはたらく力について知る。 ・力のつり合い、ニュートンの運動の3法則について理解する。
第3回	単元名	力学的エネルギー
提出期限 8月15日	概要	仕事／仕事率／運動エネルギー／位置エネルギー／力学的エネルギーの保存／いろいろな運動でみる力学的エネルギー ・仕事、運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーの表し方を知る。 ・力学的エネルギーが保存される場合とされない場合などについて理解する。
第4回	単元名	熱
提出期限 10月15日	概要	温度と熱／熱と物質／熱の移動と保存／熱機関と不可逆変化 ・原子や分子の熱運動と温度との関係、絶対温度、物質の三態について学習する。 ・熱容量や比熱容量、熱量の保存、内部エネルギー、熱現象の不可逆性や熱効率について理解する。
第5回	単元名	波
提出期限 11月15日	概要	いろいろな波／波の表し方／横波と縦波／波の重ね合わせ／定在波／波の反射／音波／弦の固有振動／気柱の固有振動 ・波を表す基本的な量や性質、波の重ね合わせ、定在波、反射について学習する。

		・音波について、うなりや弦の共振、気柱の共鳴について理解する。
第6回	単元名	さまざまな物理現象とエネルギー
提出期限 12月15日	概要	動いていない電気、動いている電気／電流と電気抵抗／直列接続と並列接続／電力と電力量／電流がつくる磁場／発電機のしくみ／直流と交流／電磁波／エネルギーの変換と保存／原子核のエネルギー／放射線の利用と安全性／エネルギーの利用と課題 ・オームの法則、物質の抵抗率の違い、交流の発生、送電、変圧について知る。 ・電磁波の種類や性質について理解する。 ・エネルギー保存の法則、エネルギー資源について理解する。 ・原子力について、核分裂や核融合、放射線の特徴や利用、その課題について知る。

面接指導計画

力学的エネルギー 仕事、力学的エネルギー
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、運動エネルギーと位置エネルギーについて仕事と関連付けて基本的な概念や法則を理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常に存在する物理現象のなかに仕事やエネルギーに関する問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。
熱 熱の温度、熱の利用
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、熱やエネルギーに関する基本的な概念や原理・原則・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱やエネルギーから問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱やエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

「化学基礎」 1 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	化学基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	8	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	3.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「化学基礎」（化基702）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	化学と人間生活
提出期限 6月15日	概要	物質の成分／物質の構成元素／物質の三態 ・日常生活や社会を支える物質の利用を通して、化学に対する興味関心を高める。 ・日常生活や社会において物質が適切に使用されていることを通して、物質とその変化について理解を深める。 ・物質の分離・精製や元素の確認について学び、単体、化合物および混合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度、物質の三態との関係について理解する。
第2回	単元名	物質の構成(1)
提出期限 7月15日	概要	原子の構造／電子配置と周期表／イオンとイオン結合 ・原子の構造と陽子、中性子、電子の性質について知る。 ・元素の周期律と原子の電子配置、周期表の族や周期との関係について理解する。 ・イオンの生成を電子配置と関連づけて理解する。 ・イオン結合とイオン結晶の性質・用途を理解する。
第3回	単元名	物質の構成(2)
提出期限 8月15日	概要	分子と共有結合／金属と金属結合／化学結合と物質の分類 ・共有結合を電子配置と関連づけて理解する。 ・分子からなる物質の性質・用途を理解する。 ・金属結合と金属の性質・用途を理解する。
第4回	単元名	物質の変化(1)
提出期限 10月15日	概要	原子量・分子量・式量／物質量／溶液の濃度／化学反応の表し方／化学反応式の表す量的関係 ・物質量と粒子数、質量、気体の体積、溶液の濃度との関係について理解する。 ・化学反応式は、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。
第5回	単元名	物質の変化(2)
提出期限	概要	酸と塩基／水素イオン濃度と pH／中和反応と塩の生成／中和滴定 ・酸と塩基の性質や定義、その強弱と電離との関係を知る。

11月15日		・酸、塩基の価数と、中和反応における物質の量的関係について理解する。
第6回	単元名	物質の変化(3)
提出期限 12月15日	概要	酸化と還元／酸化剤と還元剤／金属の酸化還元反応／酸化還元反応の応用 ・酸化と還元が、電子の授受や酸化数の増減によって定義付けられることを理解する。 ・酸化と還元が常に同時に起こることを知る。 ・酸化還元反応と日常生活とのかかわりについて知る。

面接指導計画

<ul style="list-style-type: none"> ・化学と人間生活 ・物質の構成 ・物質の変化 <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに主体的に関わり、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p> <p>【知識・技能】 物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている</p>
--

「生物基礎」 1 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	生物基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	8	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	3.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「生物基礎」（生基 7 0 2）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	生物の特徴
提出期限 6 月 15 日	概要	生物の多様性／生物の共通性／細胞の特徴／生体と ATP／酵素のはたらき／呼吸と光合成 ・「生物の多様性と共通性」と「生物の特徴」について理解する。 ・真核生物、原核生物の細胞の基本的な構造が同じであることを知る。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について学習する。 ・すべての生物が呼吸や光合成で ATP を獲得していることを理解する。
第 2 回	単元名	遺伝子とそのはたらき
提出期限 7 月 15 日	概要	生物と遺伝子／DNA の構造／DNA の複製と分配／タンパク質／タンパク質と遺伝情報／細胞の分化と遺伝子 ・遺伝情報を担う物質としての DNA の構造、ゲノムについて理解する。 ・DNA の遺伝情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。
第 3 回	単元名	生物の体内環境の維持(1)
提出期限 8 月 15 日	概要	体内環境／神経系による情報伝達／内分泌系による情報伝達／血糖濃度の調節 ・神経系と内分泌系によって、ヒトの恒常性が支えられていることを理解する。
第 4 回	単元名	生物の体内環境の維持(2)
提出期限 10 月 15 日	概要	免疫のしくみ／免疫の応用／免疫とさまざまな疾患 ・免疫とそれにかかわる細胞のはたらきについて理解する。
第 5 回	単元名	生物の多様性と生態系(1)
提出期限 11 月 15 日	概要	身のまわりの植生／植生の遷移／遷移とバイオーム ・陸上にはさまざまな植生がみられることを知る。 ・植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・現存するバイオームは、遷移を経て成立することを理解する。

第6回	単元名	生物の多様性と生態系(2)
提出期限 12月15日	概要	生態系における生物の多様性／生態系における生物間の関係／生態系と人為的攪乱／生態系の保全 ・生態系における種多様性について理解する。 ・生態系のバランス、生態系の保全の重要性について知る。

面接指導計画

生物の共通性と多様性、遺伝情報と DNA

神経系と内分泌系による調節

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・身近な生物の違いと共通性に関心を持ち、観察・実験を通して授業に意欲的に参加していること。
- ・体内環境の維持について関心を持ち、意欲的に授業へ参加していること。

【思考・判断・表現】

- ・実験・観察・教員からの発問を通して、生物の共通性について科学的な視点で考えることができる。
- ・内分泌系や神経系がどのように体内環境維持に関わっているか科学的に思考することができる。

【知識・技能】

- ・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解すること。
- ・体内環境の維持と、自律神経や内分泌系の関係性を理解すること。

免疫の働き

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・免疫システムについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。
- ・二次応答やアレルギーについて関心を持ち、これまでの実体験を振り返りながら意欲的に学習しようとする。

【思考・判断・表現】

- ・免疫システムがどのようにして体内で働いているのか科学的に思考することができる。
- ・二次応答やアレルギー反応が起きた時、体内でどのようなことが起きているのか科学的に思考することができる。

【知識・技能】

- ・免疫のシステムについて理解する。
- ・二次応答やアレルギーについて理解する。

「地学基礎」 1 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	地学基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	8	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	3.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「地学基礎」（地基 7 0 2）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	私たちの大地(1)
提出期限 6 月 15 日	概要	地球の形と大きさ／地球の構造／地球内部の動きとプレート／大地形の形成と地質構造／変成岩と変成作用 ・地球の形と大きさをその解明の歴史を交えて、地球の形が真の球ではないことを知る。 ・地球の層構造やマントルの対流とプレートの動きについて、プレートの 3 種類の境界について理解する。
第 2 回	単元名	私たちの大地(2)
提出期限 7 月 15 日	概要	火山噴火の多様性／火成岩／地震の発生／地震が起こる場所 ・地球上で起こっている火山活動や地震がどのような場所で起こっているのかを知る。 ・火山活動によって作られる岩石について理解する。
第 3 回	単元名	私たちの空と海
提出期限 8 月 15 日	概要	地球大気構造／地球の大気で起こる現象／地球の熱収支／大気や海水の運動の原因／大気の大循環／海水とその運動／大気と海洋の相互作用 ・地球大気が層構造となっていることを理解する。 ・地球大気で起こっている現象、太陽放射と地球放射が付きあっていることを理解する。 ・大気や海水の運動の原因について、地球の熱収支と関連付けて理解する。 ・大気と海洋の運動が相互に作用しあっていることを知る。
第 4 回	単元名	私たちの宇宙の誕生
提出期限 10 月 15 日	概要	宇宙の誕生と宇宙の姿／太陽系の誕生／太陽系の構成／太陽の特徴／地球の特徴 ・ビッグバンによって宇宙が誕生し、太陽系が形成されたことを知る。 ・太陽系を構成する惑星の特徴と分類、太陽の特徴について理解する。 ・地球がハビタブルゾーンに位置し、生物が生存できる条件について知る。
第 5 回	単元名	私たちの地球の歴史

提出期限 11月15日	概要	地層の形成／地層からわかる情報／地球史の最初期／先カンブリア時代／古生代／中生代／新生代／人類の進化／地球環境の変化による生物の変遷 ・地層の堆積のしかた、堆積岩、地層からわかる情報について知る。 ・示準化石や示相化石から、その生物が生息した時代や環境がわかる。 ・地球の変遷について、古生物の変遷と地球環境のことを理解する。
第6回	単元名	地球に生きる私たち
提出期限 12月15日	概要	日本の自然環境の特徴／日本の自然の恵み／気象災害と防災／地震による災害と防災／火山による災害と防災／地球環境の考え方／自然環境の変化／人間活動がもたらす自然環境の変化／世界の取り組み／代替エネルギー／持続可能な発展へ ・日本の自然の多様性、自然の与える様々な恩恵について、気象災害と防災、地震による災害と防災、火山による災害と防災について知る。 ・地球システムの考え方について理解する。 ・自然環境の変動について人間活動もかかわっていることを知る。 ・環境問題に対応するための全世界的な取り組みについて知る。

面接指導計画

<p>私たちの大地 私たちの海と空 私たちの宇宙の誕生 私たちの地球の歴史</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p> <p>【観察・実験の技能】 地球や地球を取り巻く環境に関する観察・実験などを行い、それらの過程や記録を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。</p> <p>【知識・理解】 地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p>
--

「体育Ⅰ」 1 学年 年間学習指導計画

教科	保健体育	科目	体育Ⅰ	単位	2 単位
----	------	----	-----	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	10	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	4	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	200 分
--------------------------------	----	--------------------------------	---	------------------------	-------

学習目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
------	--

教科書	大修館書店「現代高等保健体育」（保体 7 0 1）
副教材	大修館書店「アクティブスポーツ 2021」

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 2 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第 1 回	単元名 スポーツの発祥と発展／陸上競技
提出期限 8 月 15 日	概要 スポーツの始まりと変遷／文化としてのスポーツ／日本生まれのスポーツ／オリンピックとパラリンピックの意義／オリンピック・パラリンピックの課題／スポーツが経済に及ぼす効果／スポーツの高潔さとドーピング／陸上競技
第 2 回	単元名 水泳競技／水泳／器械運動
提出期限 12 月 15 日	概要 水泳競技／器械運動／マット運動／鉄棒運動／平均台運動／跳び箱運動

面接指導計画

<p>体育理論 「運動・スポーツの文化的特性」 体づくり運動 「ストレッチ」</p> <p>スポーツの文化的内容、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組む【関心・意欲・態度】 スポーツの文化的内容について理解し、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について説明することができる【資料活用の技能・表現】 スポーツの文化的内容について理解し、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について、基礎的な事項を理解する【知識・理解】 【実技】 様々な運動種目に関心を持ち、課題解決に向けて周囲と協力して活動に取り組んでいく【関心・意欲・態度】 自己の能力に応じて課題を考え、課題解決のために工夫して取り組んでいる【思考・判断】</p>
--

体の動かし方などの基礎知識を知るとともに、運動上達の仕組みやトレーニング効果について理解する【知識・理解】

自己の能力に応じて段階的に練習に取り組み技能を高めることができる【技能】

体づくり運動 「体ほぐしの運動」

球技 「卓球」「ボッチャ」

様々な運動種目に関心を持ち、課題解決に向けて周囲と協力して活動に取り組んでいる【関心・意欲・態度】

自己やチームの能力に応じて課題を考え、課題解決のための工夫をして練習やゲームに取り組んでいる【思考・判断】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、運動上達の仕組みやトレーニング効果について理解する【知識・理解】

自己の能力に応じて段階的に練習に取り組み個人技能や集団技能を高めることができる【技能】

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位	3 単位
----	-----	----	--------------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	12	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	4.8	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	240 分
--------------------------------	----	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>(1) 聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと [発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
------	---

教科書	東京書籍「All Aboard! English Communication I」 (C I 7 0 1)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 9 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第 1 回	単元名 Warm-Up / 【Pre-Lesson 1】 My name is Ito Neko / 【Pre-Lesson 2】 I Like Junk Food!
提出期限 6 月 15 日	概要 アルファベット / 教室で使う表現 / 辞書の使い方・疑問詞 ・英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。 ・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 ・辞書の使い方と役に立つ用法について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ be 動詞 / 一般動詞 / 自己紹介 / 主語＋動詞、主語＋動詞＋補語、主語＋動詞＋目的語について学習する。 ・ 英語で自己紹介をする。
第2回	単元名	【Lesson1】 Breakfast around the World / 【Lesson2】 Australia's Cute Quokkas
提出期限 7月15日	概要	<p>【Lesson1】 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や違いを学習する。 / 文法テーマ：過去形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな食べ物について、英語で述べることができる。 ・ 「過去にしたこと」について、英語で述べることができる。 <p>【Lesson2】 オーストラリアのめずらしい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 / 文法テーマ：進行形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな動物について、英語で述べることができる。 ・ 「今していること」について説明する。
第3回	単元名	【Lesson 3】 A Train Driver in Sanriku / 【Lesson 4】 A Miracle Mirror
提出期限 8月15日	概要	<p>【Lesson3】 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 / 文法テーマ：助動詞：can, will</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べるができる。 ・ 自分ができることについて伝える。 <p>【Lesson4】 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 / 文法テーマ：to 不定詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行ってみたい場所について、英語で述べるができる。 ・ 今週末にやりたいことについて伝える。 ・ 英語で E メールを書いてみる。
第4回	単元名	【Lesson 5】 Learning from the Sea / 【Reading 1】 Short Stories in English
提出期限 8月15日	概要	<p>【Lesson 5】 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。 / 文法テーマ：動名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢について、英語で述べるができる。 ・ 先週末に楽しんだことについて伝える。 <p>【Reading 1】 3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。</p> <p>【Extra Target2】 見たり聞いたりしたことについて表現する。 / 文法テーマ：知覚動詞</p>
第5回	単元名	【Lesson 6】 A Funny Picture from the Edo Period / 【Lesson 7】 A Diary of Hope
提出期限 9月15日	概要	<p>【Lesson 6】 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 / 文法テーマ：受け身</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな絵について、英語で述べるができる。 ・ 人や物に焦点をあてて、「○○は...される」と説明する。 <p>【Lesson 7】 アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 / 文法テーマ：比較表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のある人物について、英語で説明することができる。 ・ 2つ以上のものを比べて説明する。
第6回	単元名	【Lesson 8】 A Door to a New Life
提出期限 10月15日	概要	<p>【Lesson 8】 ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 / 文法テーマ：現在完了形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 ・ 「...したことがある」という経験を伝える。 <p>【Communication 3】 電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。</p>
第7回	単元名	【Lesson 9】 Fighting Plastic Pollution
提出期限 11月15日	概要	<p>【Lesson 9】 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 / 文法テーマ：名詞を後ろから説明する分詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。 ・ 人や物に「...している」「...された」という説明を加える。
第8回	単元名	【Lesson 10】 Pigs from across the Sea
提出期限 11月15日	概要	<p>【Lesson 10】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 / 文法テーマ：関係代名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。 ・ 人や物について説明を加える。
第9回	単元名	【Reading 2】 The Wizard of Oz

提出期限 12月15日	概要	<p>【Reading 2】 家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。／文法テーマ：假定法過去</p> <p>・主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読する。</p>
----------------	----	--

面接指導計画

<p>1 コマ目：pre-Lesson1&2 My Name Is Ito Neko/I Like Junk Food!</p> <p>2 コマ目：Lesson2 進行形</p> <p>3 コマ目：Lesson 4&reading1</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深めて主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【知識・技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>
<p>1 コマ目：Lesson 6&7</p> <p>2 コマ目：Lesson 9 名詞を後ろから説明する分詞（現在分詞・過去分詞）</p> <p>3 コマ目：Lesson 10</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深めて主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【知識・技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>

「論理・表現 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	外国語	科目	論理・表現 I	単位	2 単位
----	-----	----	---------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	8	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	3.2	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	-------

学習目標	<p>(1) 話すこと [やり取り]</p> <p>ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと [発表]</p> <p>ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
------	---

教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」（論 I 7 0 1）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第 1 回	単元名 英語で表現するには / 【Unit 1 Lesson 1】初めての食事～【Lesson 4】体調が悪い
提出期限 6 月 15 日	概要 【第 1 回】英語で表現するには / 【Unit 1 Lesson 1】初めての食事 / 【Lesson 2】道に迷う / 【Lesson 3】人物紹介 / 【Lesson 4】体調が悪い ・これまでに学んできた英語を振り返る。 ・褒める / 勧める / 断ることができる。 ・提案する / 依頼する / 道順を説明することができる。 ・身近な人を紹介する / 注意を引くことができる。 ・体調を伝える / 体調を尋ねる / 指示・アドバイスをすることができる。
第 2 回	単元名 【Unit 1 Lesson 5】買い物～【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談
提出期限 7 月 15 日	概要 【Unit 1 Lesson 5】買い物 / 【Lesson 6】行ってみたい場所 / 【Lesson 7】イベントに誘われる / 【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談 ・描写する / 相づちを打つことができる。 ・希望を述べる / 理由を述べる。 ・誘う / 誘いを受ける / 誘いを断ることができる。

		・状況を説明する／手助けを申し出る／助言・提案する／お礼や感謝を伝えることができる。
第3回	単元名	【Unit 1 Lesson 9】お気に入りの紹介～【Lesson 12】英字新聞に投稿
提出期限 8月15日	概要	【Unit 1 Lesson 9】お気に入りの紹介／【Lesson 10】待ち合わせに遅刻／【Lesson 11】家庭でのディスカッション／【Lesson 12】英字新聞に投稿 ・映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする／感想や批評を述べることができる。 ・相手に謝る／相手を許す／相手を励ますことができる。 ・共感を述べる／残念な気持ちを述べる／解決策を提案することができる。 ・要望や主張を述べる／理由を述べるすることができる。
第4回	単元名	【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート①～【Lesson 3】経験談のスピーチ
提出期限 10月15日	概要	【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート①／【Lesson 2】クラスでディベート②／【Lesson 3】経験談のスピーチ ・理由を述べる／例を挙げるすることができる。 ・相手の意見に反駁する／相手の意見を引用することができる。 ・できごとを生き生きと描写すること／経験からアドバイスをすることができる。
第5回	単元名	【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介～【Lesson 6】物事の両面を伝える
提出期限 11月15日	概要	【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介／【Lesson 5】日本をPR／【Lesson 6】物事の両面を伝える ・ルールや手順を順序立てて説明する／聞き手の知識に合わせて説明することができる。 ・事実と意見を区別して述べる／文化や習慣を説明することができる。 ・利点と欠点を述べる／話題を発展させる／話題を変えることができる。
第6回	単元名	【Unit 2 Lesson 7】読み手を納得させる～【Lesson 8】読み手を説得する
提出期限 12月15日	概要	【Unit 2 Lesson 7】読み手を納得させる／【Lesson 8】読み手を説得する ・自分の主張について理由を説明する／理由を要約してまとめることができる。 ・人の発言を直接引用する／条件を出して意見を述べる／説得することができる。

面接指導計画

<ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目《Unit1》Lesson6 At Yanaka High 行ってみたい場所 (pp.44-45) ・2コマ目《Unit1》Lesson11 Sakura's Episode 家庭でのディスカッション (pp.74-75) <p>【知識・技能】 英語を通じて、社会で使える英語の表現について理解を深め、活用できるようになる</p> <p>【思考・判断・表現】 情報や考えを的確に理解し、伝える能力を養う</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3コマ目《Unit2》Lesson3 経験談のスピーチ (pp.100-101) ・4コマ目《Unit2》Lesson5 日本をPR (pp.112-113) <p>【知識・技能】 英語を通じて、社会で使える英語の表現について理解を深め、活用できるようになる</p> <p>【思考・判断・表現】 情報や考えを的確に理解し、伝える能力を養う</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p>

「家庭基礎」 1 学年 年間学習指導計画

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	4	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	1.6	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」（家基701）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年4回）、試験（年間1回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	生涯を見通す／人生をつくる／子どもと共に育つ
提出期限 6月15日	概要	人生を展望する／家族・家庭／ホームプロジェクト／私のキャリア／特別養子縁組／命を育む／子どもの育つ力を知る／保育環境
第2回	単元名	超高齢社会を共に生きる／共に生き、共に支える／食生活をつくる
提出期限 8月15日	概要	高齢期を理解する／高齢者の心身の特徴／これからの高齢社会／私たちの生活と福祉／社会保障の考え方／社会保障の考え方／食生活の課題／食事と栄養／調理
第3回	単元名	衣生活をつくる／住生活をつくる／経済生活を営む
提出期限 10月15日	概要	被服の役割を考える／被服を入手・管理する／衣生活の文化と知恵／住生活の変遷と住居の機能／住生活の文化と知恵／情報の収集・比較と意思決定／消費者の権利と責任／生涯の経済生活を見通す
第4回	単元名	持続可能な生活を営む／これからの生活を創造する
提出期限 12月15日	概要	持続可能な社会を目指して／生活をデザインする

面接指導計画

<p>様々な生き方について学び、自分らしい人生について考える。</p> <p>【知識・技能】 家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。 家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。</p>

家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。

【思考・判断・表現】

男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

住居について考え、今の住生活を見直し、将来の住生活について考える。

【知識・技能】

ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居計画・管理に必要な技能を身に付ける。

【思考・判断・表現】

住居の機能性や快適性、住居と地域社会とのかかわりについて問題を見つけ、課題を設定し、解決策を考え、課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実を図るために実践しようとしている。

「情報 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	情報	科目	情報 I	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	4	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	1.6	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「新編情報 I」（情 I 7 0 1）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年 4 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	情報で問題を解決する
提出期限 6 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの使い方 ・情報とは何かを知ろう ・発想法などを実践しよう ・問題解決のツールを知ろう ・情報モラルについて知ろう ・著作権について知ろう ・情報技術、情報社会について知ろう
第 2 回	単元名	情報を伝える
提出期限 8 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコミュニケーションについて知ろう ・デジタル化について知ろう ・デジタルデータについて知ろう ・Google ドキュメントを操作してみよう ・色彩・文字の基礎知識 ・情報を表現・整理しよう ・情報伝達のためのデザインを知ろう
第 3 回	単元名	コンピュータを活用する
提出期限 10 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組みを知ろう ・プログラムの基本構造について知ろう ・さまざまなプログラミング言語 ・プログラムを作ろう ・発展的なプログラムについて知ろう ・モデル化とシミュレーションについて知ろう ・Google スプレッドシートを操作してみよう

第4回	単元名	データを活用する
提出期限 12月15日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの仕組みを知ろう ・インターネット上のサービスや情報セキュリティについて知ろう ・データの特徴や活用方法を知ろう ・ファイル形式の種類やWebページの構造を知ろう ・データ分析について知ろう ・データを収集・分析しよう

面接指導計画

<p>第3章 情報社会の問題解決</p> <p>1章 情報で問題を解決する（『新選 情報I』東京書籍 P.6～P.18）</p> <p>【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。問題解決にコンピュータや外部装置を活用する活動を通して情報の科学的な見方・考え方を働かせて、コンピュータの仕組みとコンピュータでの内部表現、計算に関する限界などを理解し、アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身に付けるようにし、モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す力を養う。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度、結果を振り返って改善しようとする態度、生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度を養うことが考えられる。</p> <p>第3章 コンピュータとプログラミング</p> <p>3章 コンピュータを活用する（『新選 情報I』東京書籍 P.64～P.83）</p> <p>【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。問題解決にコンピュータや外部装置を活用する活動を通して情報の科学的な見方・考え方を働かせて、コンピュータの仕組みとコンピュータでの内部表現、計算に関する限界などを理解し、アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身に付けるようにし、モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す力を養う。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度、結果を振り返って改善しようとする態度、生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度を養うことが考えられる。</p>
--

「総合的な探究の時間Ⅰ」 1 学年 年間学習指導計画

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間Ⅰ	単位	1 単位
----	-----------	----	------------	----	------

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	1	面接指導時間（6 割減免後） ※1 単位時間 50 分	0.4	面接指導時間数 40 分 1 コマ換算	50 分
--------------------------------	---	--------------------------------	-----	------------------------	------

学習目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>
------	--

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、試験（年間 0 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	自己認知と他者理解について
提出期限 12 月 15 日	概要	<p>総合的な探究Ⅰでは「自己認知」と「他者理解」の内容について学習していきます。</p> <p>充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。</p> <p>さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。</p> <p>これらの内容を踏まえつつ、「N/S 高等学校で何をするか」について考えてもらいたいと思います。</p> <p>高校生活を送る時期は、青年期にあたります。この時期は、さまざまな人と関係を結び、多様な知識や価値観・刺激を受けながら、自分探しをする時期です。いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、「自分とは何か」という問いに対する答えを見つけてください。</p>

面接指導計画

<p>・ N/S 高校にある機会を見つける</p> <p>1 年次における授業のため、これからの学校生活において、様々な事柄に対し主体的・協働的に取り組もうとする姿勢を身につける。</p> <p>【関心・意欲・態度】 N/S 高等学校における様々な機会を確認し、積極的に実施、参加したいことを伝えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自身のやりたいことに真摯に向き合った上で、実際にどんなことを実施していくか考えることができる。</p> <p>【知識・理解】 N/S 高等学校における様々な機会を知ることで、充実した高校生活を送りたいと思うことができる。</p>
--

「特別活動Ⅰ」 1 学年 年間学習指導計画

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅰ	単位	—
----	------	----	-------	----	---

面接指導時間（学習指導要領） ※1 単位時間 50 分	10	面接指導時間（4 割減免後） ※1 単位時間 50 分	6	面接指導時間数 50 分 1 コマ換算	300 分
--------------------------------	----	--------------------------------	---	------------------------	-------

学習目標	<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>
------	---

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	キャリアガイダンス
提出期限 12 月 15 日	概要	<p>特別活動は必修の活動です。</p> <p>「特別活動Ⅰ キャリアガイダンス」は、1) 学校生活について、2) 社会を知る、3) 進路・自己分析、4) ライフスキルの 4 つのポイントで授業が構成されています。</p> <p>『自分』と『社会』を知り、社会に出た自分の未来を想像しながら授業を受けてください。</p>

面接指導計画

<p>自己認知について</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己理解を深めようとする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「自己発展・自己実現」を目標とし、これからの高校生活をどのように利用するかについて考える</p> <p>【知識・理解】</p> <p>進路の選択に必要な知識や考え方を深め、自らの進路選択に取り入れる。</p>
